

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合
 ('09AH1(TCF9784)・AH2(TCF9794)・AH3(TCF9794Y)
 '09レストルームドレッサー専用ネオレストAH(TCF9784C/CY)用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。
 この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)
 特殊コードラベルの品番は、特殊コードラベル一覧*をご確認ください。

*アフターサポート期間が終了したため、ラベルの発注はできません

2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タ イ 1 プ) 1	(タ イ 2 プ) 2	正 規 品	(タ イ 1 プ) 1	(タ イ 2 プ) 2
(タ イ 3 プ) 3	(タ イ 4 プ) 4	(タ イ 5 プ) 5	(タ イ 3 プ) 3	(タ イ 4 プ) 4	(タ イ 5 プ) 5

3. 連立トイレ対応方法

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、[TOTOメンテナンス](#)へご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

＜＜本体側の設定方法＞＞

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順

1

本体操作部の **運転** (入/切) を10秒以上押し続ける

⇒10秒後に全てのランプが**5秒間**点灯します。

＜＜下図は例です＞＞

<p>● 運転</p> <p>● 便座</p> <p>● 節電</p> <p style="text-align: center;">緑色点灯</p>	<p>● 運転</p> <p>● 便座</p> <p>● 節電</p> <p style="text-align: center;">橙色点灯</p>	<p>●/ 運転</p> <p>●/ 便座</p> <p>● 節電</p> <p style="text-align: center;">ランプが点滅(緑色)したら最初からやり直してください。</p>
この間 5秒		

本体操作部

2

すぐに **運転** (入/切) を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)すると、
すぐに **ビデ** (入/切) を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

3

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

運転 (入/切) を押したまま、**おしり** (入/切) を押す。

おしり (入/切) を押す度に標準→特1→特2…特9→標準と設定が切り替わります。

本体表示部

●…緑点灯 ▲…橙点灯 ×…消灯

設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9
運転	●	×	●	×	●	×	●	●	×	●
便座	●	●	×	×	●	●	×	●	●	×
節電	●	●	●	●	×	×	×	▲	▲	▲

本体操作部

4

※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

運転 (入/切) から手を離れた時点で設定したコードになる。

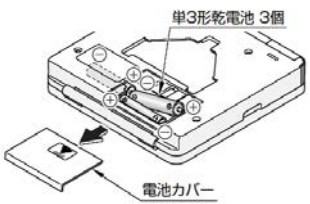
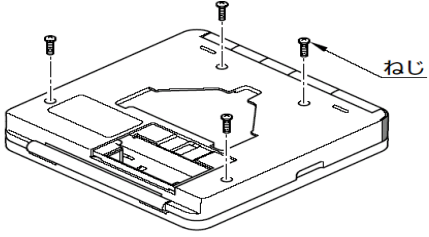
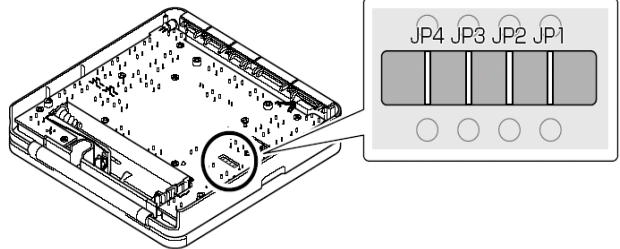
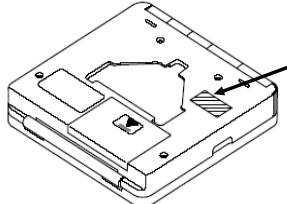
5

コードラベル

ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

<<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																												
1	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。</p> <p>②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <p>③「止」スイッチを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (乾電池が入ったままだと切替わりません。)</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!!</p> <p>電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div> 																																																												
2	 <p>リモコン裏面のねじ4本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>																																																												
3	 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!!</p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> </div> <p>◎:つながったまま ×:切断</p> <table border="1" data-bbox="207 1176 997 1377"> <thead> <tr> <th>ジャンパ線</th> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td></td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td></td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td></td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td></td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>リモコン基板上的の4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>	ジャンパ線	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	JP1		◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2		◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3		◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
ジャンパ線	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																																		
JP1		◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																																		
JP2		◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																																		
JP3		◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																																		
JP4		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																																		
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れて、リモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																												
5	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>例</p> <p>リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div> <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																																												

※1 ウォッシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)